＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	flechir maison～住宅で感動を！～
グループの名称	わかやまメゾン未来会
直近採択グループ番号	06-0684-0600

（グループ代表者）

代表者名	上野　祥宏　代表者印
代表者所属先	株式会社ユアサ
代表者所在地	和歌山県有田郡湯浅町湯浅大字湯浅3013
代表者電話番号	0737-63-2323

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社ユアサ
事務局担当者名	青木　明義　印
事務局郵便番号	643-0004
事務局所在地	和歌山県有田郡湯浅町大字湯浅2954番地
事務局電話番号	073-763-2322
事務局FAX	073-763-2321
事務局担当者E-mail	yuasa.k@aurora.ocn.ne.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	flechir maison～住宅で感動を！～
２．グループの名称(必須)	わかやまメゾン未来会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0684-0600
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	和歌山県及び近隣府県
５．結成年(必須)	1995　年
６．グループ代表者名(必須)	上野　祥宏
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社ユアサ
８．グループ代表者所在地(必須)	和歌山県有田郡湯浅町湯浅大字湯浅3013
９．グループ代表者電話番号(必須)	0737-63-2323
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ユアサ
１１．グループ事務局担当者名(必須)	青木　明義
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	643-0004
１３．グループ事務局所在地(必須)	和歌山県有田郡湯浅町大字湯浅2954番地
１４．グループ事務局電話番号(必須)	073-763-2322
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	073-763-2321
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	yuasa.k@aurora.ocn.ne.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ. 原木供給	5	合法木材認証制度の一部は、産地が外国である事業者の為、原木供給業者の登録を行っていない事業者がある。
Ⅱ. 製材・集成材製造・合板製造	5	製材・集成材製造・合板製造業者が海外事業者であった場合、流通構成員の出荷者による合法木材証明とする。
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	製材・集成材製造・合板製造業者が海外事業者であった場合、流通構成員の出荷者による合法木材証明とする。
Ⅳ. プレカット	3	一部、プレカット加工を行わずに手刻み等により、製材・集成材・合法グループから直接購入する場合がある。
Ⅴ. 設計	1	建築主が建築士であったり、建築主の意向により設計グループ構成員によらない場合がある。
Ⅵ. 施工	8	
Ⅶ. 木材を扱わない流通	2	
Ⅷ. Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	紀州材	和歌山県	紀州材認証システム	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	5	棟	
			710	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
				㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	構成工務店一社に付一棟は配分を行うが、採択の可能性が高い案件を優先し、事務局で決定、配分する。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積		㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
合法木材認証制度の一部は、産地が外国である事業者の為、原木供給業者の登録を行っていない事業者がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
30	Ⅰ － 8	和歌山県森林組合連合会		640-8281	和歌山県和歌山市湊通丁南4－18	073-424-4351
30	Ⅰ － 9	龍神村森林組合		645-0414	和歌山県田辺市龍神村東401	0739-78-0246
30	Ⅰ － 10	西牟婁森林組合		646-1101	和歌山県田辺市鮎川597番地の101	0739-49-0221
30	Ⅰ － 11	中辺路町森林組合		646-1417	和歌山県田辺市中辺路町川合1434－1	0739-64-0018
30	Ⅰ － 12	株式会社竹中商店		644-0025	和歌山県御坊市塩屋町北塩屋676－51	0738-23-1575
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
製材・集成材製造・合板製造業者が海外事業者であった場合、流通構成員の出荷者による合法木材証明とする。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
30	Ⅱ － 14	西平製材所		644-0005	和歌山県御坊市名屋町176－6	0738-22-2356
30	Ⅱ － 15	株式会社伸栄木材		649-2101	和歌山県西牟婁郡上富田町岡2番地	0739-47-2678
30	Ⅱ － 16	有限会社南方木材		643-0032	和歌山県有田郡有田川町天満807	0737-52-2167
29	Ⅱ － 21	吉野銘木製造販売株式会社		638-0045	奈良県吉野郡下市町新住991－1	0747-52-8881
30	Ⅱ － 23	株式会社かつら木材商店		649-2621	和歌山県西牟婁郡すさみ町周参見3719の5	0739-55-2270
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
製材・集成材製造・合板製造業者が海外事業者であった場合、流通構成員の出荷者による合法木材証明とする。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
30	Ⅲ － 16	有限会社南方木材		643-0032	和歌山県有田郡有田川町天満807	0737-52-2167
30	Ⅲ － 17	株式会社ユアサ		643-0004	和歌山県有田郡湯浅町湯浅3013	0737-63-2323
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
一部、プレカット加工を行わずに手刻み等により、製材・集成材・合法グループから直接購入する場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
30	Ⅳ － 18	株式会社山本進重郎商店		641-0036	和歌山県和歌山市西浜1660－180	073-447-2241
30	Ⅳ － 19	株式会社山長商店		646-0011	和歌山県田辺市新庄町377	0739-22-2605
30	Ⅳ － 22	有限会社関西プレカット工業所		646-1433	和歌山県田辺市中辺路町大川660番地	0739-64-0606
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ⅴ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由
建築主が建築士であったり、建築主の意向により設計グループ構成員によらない場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
30	Ⅴ － 3	小瀬工務店		644-0003	和歌山県御坊市島２３６番地	0738-22-1225	○	
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							8	○	○
30	Ⅵ - 1	78258	株式会社新谷工務店		643-0855	和歌山県有田市有田川町上中島243－2番地	0737-52-5260	○	
30	Ⅵ - 2	78306	中家工務店		649-1325	和歌山県日高郡日高川町中津川654	0738-52-0709	○	
30	Ⅵ - 3	78288	小瀬工務店		644-0003	和歌山県御坊市島236番地	0738-22-1225	○	
30	Ⅵ - 4	78303	竹中水道設備		643-0066	和歌山県有田郡広川町名島26－3	0737-63-1601	○	
30	Ⅵ - 5	78311	辻本建築		643-0003	和歌山県有田郡湯浅町別所325－1	0737-63-4511	○	
30	Ⅵ - 6	78304	竹田建築		649-0434	和歌山県有田市宮原町新町349－2	0737-88-6947	○	
30	Ⅵ - 7	78327	有限会社玉置工務店		642-0002	和歌山県海南市日方945番地	073-482-1050	○	
30	Ⅵ - 24		谷山工務店		643-0063	和歌山県有田郡広川町南金屋134－6	0737-62-4196	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
30	Ⅵ－ 1	78258	株式会社新谷工務店	10 戸	10 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
30	Ⅵ－ 2	78306	中家工務店	5 戸	6 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	4以上			
30	Ⅵ－ 3	78288	小瀬工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	4以上			
30	Ⅵ－ 4	78303	竹中水道設備	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
30	Ⅵ－ 5	78311	辻本建築	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
30	Ⅵ－ 6	78304	竹田建築	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
30	Ⅵ－ 7	78327	有限会社玉置工務店	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
30	Ⅵ－ 24		谷山工務店	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
30	Ⅶ － 17	株式会社ユアサ		643-0004	和歌山県有田郡湯浅町湯浅3013	0737-63-2323
13	Ⅶ － 20	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場１丁目7ー22	03-5534-3711
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） flechir maison～住宅で感動を！～	（地域型住宅供給対象地域） 和歌山県及び近隣府県
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） わかやまメゾン未来会	（結成年） 1995　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0684-0600	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	本グループが重視するテーマは、海に接するエリアが多く多湿なうえ、降雨量も多い地域ではありますが、快適な住環境を提供します。 また、南海トラフの巨大地震に備えて倒壊や崩壊の危険性を抑えた家づくりをテーマとします。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・多湿対策として、和歌山県の名産である炭などを床調湿材として利用 ・南海トラフの巨大地震に備え、耐震等級2以上の確保 長寿命のみ対象	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・敷地や周辺の条件を読み取りながら、全体の調和を図りつつ、その中で個性を生み出すようなデザインを目指します。 ・紀州材のカウンターや（飾棚や床の間なども含む）を採用し、地域材を活用したものとする。	◎
④ ①～③の背景	和歌山県の総面積は、4，726㎢のうち山地が3，832㎢で、総面積の約81％を占めており、ほとんど山が占めています。和歌山県は本州最大の半島、紀伊半島の西と南の半分を占め、県南部の潮岬は本州最南端です。和歌山県は東経135～136度の間にほぼおさまるので日本列島の中央に位置しています。また、海に面するところが長く、海が主要な交通路であった近代以前には、沿岸部は海路の要衝であり、海運業が発達し、漁業技術が優れていました。潮岬は黒潮に洗われ、紀南は気温温暖で雨量が多く、森林の生育によく、熊野の山間部は良質の熊野木材を産出します。和歌山と一言でいっても紀北と紀南は温度差は大きく、特に高野山は他の地域と異なり、夏は平地より10度近く涼しいのです。高野山上の各寺院に残され、特別の取地です。川の代表は紀ノ川であり、本県最大の紀ノ川平野（和歌山平野）は肥	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地盤調査を全棟実施し、必要に応じて地盤改良を行います。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：合板等については、Fフォースター以上とし、安全なJAS認定商品を使用します。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：建材や資材などの利用リストを活用し、使用の統一を行っており、選定には環境に配慮した建材などを推奨しています。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：建築物省エネ法の等級4相当の断熱材を標準仕様として設定し、さらに断熱材をプレカット加工により現場での廃材が削減できます。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：使用する建材や設備機器など採用しているものをリスト化し、検討委員会と事務局とで検討内容を精査し、各構成員との調整を行います。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：断熱材の省エネ仕様を長期優良住宅、低炭素住宅、ゼロエネ住宅毎に設定することで断熱材の統一を図り、流通構成員と共同し管理委託などを行うことで合理化を進めます。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：建材流通の構成員と施工構成員、事務局が中心となって検討委員会を設置します。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容：使用統一する断熱材、及び建材商品の在庫管理、また、新たな情報提供を行います。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容：事務局が選定した認定長期優良住宅や認定低炭素住宅のマニュアルなどを活用し、施工構成員向けに勉強会等を開催します。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容：事務局が作成したチェックリストを用い、検査・確認を行います。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容：商材の統一仕様が可能な部分を一覧化し、施工構成員と共有し出来るだけ取り入れ信頼向上に繋げます。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容：ファイナンシャルプランナーによる住宅相談会を開催し、住宅建築だけではなく、その後のライフプランについても相談し、お施主様の不安を払拭できるような無料の相談会を実施します。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある　→	内容：業務効率をはかることで、交代制などでの週休2日制につとめるものとします。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある　→	内容：社員の経験や能力にあわせた業務改善ををおこない、資格などでの知識、能力の向上を目指します。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある　→	内容：保険加入は必須としており、保険加入の重要性の案内につとめます。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある　→	内容：職場の安全性を高めるため、日々の業務での点検、確認の励行につとめます。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	本グループのホームページを立ち上げ、本グループの取組みを発信し信頼向上に努めます。				○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）flechir maison～住宅で感動を！～	（地域型住宅供給対象地域）和歌山県及び近隣府県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）わかやまメゾン未来会	（結成年）1995　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0684-0600	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容： 第三者機関の履歴管理システムを活用し、データによる蓄積、管理を行います。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容： ＜住宅履歴の図書館＞を活用します。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容： 施工工務店とお施主様が共同して確認します。	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容： 施工工務店とお施主様が共同して確認します。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容： 定期点検の結果により、必要に応じてメンテナンスやリフォームの提案を行います。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容： 点検時期の通知サービスなどを活用し、点検、補修を行い工務店または施主により履歴管理を行い情報の登録を行います。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容： 施工工務店向けに住まい管理の基本について勉強会を行い、施主様への明瞭な案内に努めま	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容： お施主様に木工体験及び網戸張替え体験を実施します。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容： 流通構成員が主催する展示会などで相談会を開催します。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容： 施工の構成員と事務局が中心となって、維持管理検討委員会を設置します。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容： メンテナンスやリフォームの技術基準等を整備し事務局を中心に各施工工務店が行います。	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容： グループ内で倒産・廃業があった場合、事務局から代わりになる施工の構成員である工務店へ紹介し、その後の維持管理等を引き継ぎます。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容： 瑕疵発生の原因や経過、結果に至るまでをグループ内の施工構成員と内容を共有し、同様の瑕疵の発生を未然に防ぐように検討会を開催します。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容： 事務局が選定したマニュアルなどを用い、設計や施工などの技術研修会を開催します。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容： 設計施工基準を設定し、活用していきます。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容： 事務局から情報提供を行い、各構成員に確認及び報告の徹底を行います。	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容： 長期優良住宅や高度省エネ住宅未経験を未経験の工務店は少なくとも1戸以上、実績のある工務店には、ローン相談（フラット35）も含めて提案することで需要の増加を見込んでいます。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容： すべての施工工務店にグループとして省エネ義務化への対応を進めると共に、長期優良住宅や、認定低炭素、ゼロエネルギー住宅への取組みを行うことで、施工実績ありの工務店になるように計画しています。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容： 各構成員ごとの連携を図り、事務局が中心となり情報収集を行い、各構成員への伝達を行いま	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　7		今年度の参加目標人数	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容： 各構成員へメール等のツールを用いつつ、直接参加を促します。	○
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容： メーカーや建材流通の構成員より新商品等の情報を収集し事務局で検討・精査してから施工工務店へ提案し採用を促します。	
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容： メーカーや実績のある構成工務店などと設置などを行い、お施主様にも実施協力をお願いします	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

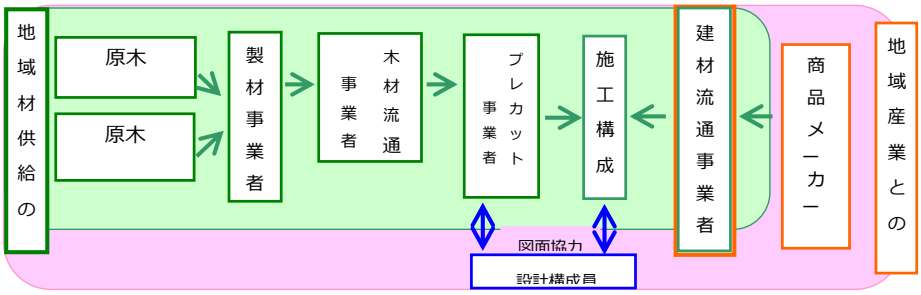
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）flechir maison～住宅で感動を！～	（地域型住宅供給対象地域）和歌山県及び近隣府県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）わかやまメゾン未来会	（結成年）1995 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0684-0600	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	「紀州材認定制度」「合法木材認定制度」をグループ指定の地域材とし、事務局が納品書等で確認します。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：商品の欠品などの情報を事務局が集約しメールマガジンなどを活用し各構成員へ配信を行います。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：価格急騰などの情報を集約し、在庫状況と共にメールマガジンなどで配信を行います。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：事務局が施工の構成員に定期的な物件情報、施工状況などを確認し、需給の予測と併せ確認します。	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：和室（畳）の採用を基本としているが、お施主様の希望により、い草を使用した敷畳（置き畳）も畳の使用とします。	◎
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：和瓦のサンプルを施工工務店に設置し、お施主様へ提案し、採用を促します。	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：襖や戸襖のカタログを施工工務店に設置し、お施主様に提案し、採用を促します。	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：障子のカタログを施工工務店に設置し、お施主様に提案し、採用を促します。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：その昔紀州藩の重要な財源であった「熊野木炭」が現在では「備長炭」として今でも使われており、日本一の生産量と品質を誇っています。そこで、炭の調湿効果と消臭効果を見込んで床下の調湿材として利用します。	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：和歌山は、「杉材」が多く、昔から親しみのある家の外壁への「焼スギ」を施主の意匠により提案いたします。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：流通構成員が主催する展示会などで、事務局がある和歌山県湯浅町の”湯浅伝統的建造物郡保存地区”などの住いの特徴やデザインなどを紹介し広く周知します。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：庭を計画する住宅がある場合、緑化や木材の利用を促し、和歌山県の本社があるエクステリアメーカーと協力し、お施主様に提案、採用を促します。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：エクステリアやガーデンメーカーなどから講師を招き、街並みに合った外構や庭の計画を行えるよう研修会を行います。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：メーカーや流通構成員などと事務局とで”和”の暮らし方や関連する商品の提案を、施工構成員よりお施主様に行います。また、竹垣など和の暮らしの上手な活用方法なども積極的に提案します。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	東日本大震災で被災したメーカーの商品を積極的に採用します。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	復興による地域特産品等を購入しイベントの景品等として利用します。	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）flechir maison～住宅で感動を！～	（地域型住宅供給対象地域）和歌山県及び近隣府県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）わかやまメゾン未来会	（結成年）1995 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0684-0600	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

1）高度省エネ型

■認定低炭素住宅の特徴
・「平成28年」建築物省エネ基準より一次エネルギー消費量えお10％以上削減します。
・昨年度、建築物省エネ法の施行により住宅も対象となったまだまだ新しい制度の施工工務店への勉強会を行う。
・選択的項目8項目中少なくとも2項目以上を採用します。
・木造住宅、節水機器、雨水タンクの設置等を推奨します。
・海風などの自然現象をうまく活用した住宅（庇など）の採用を推奨します。

■性能向上計画認定住宅の特徴
・一次エネルギー消費量の削減については10％以上とする。
・建築物省エネ法の施行により住宅も対象となった新しい制度のため施工工務店への勉強会等を行う。
・設備機器については、省エネ性の高い機器の設置を推奨しており、高効率給湯器を推奨します。

■ゼロエネルギー住宅の特徴
・和歌山では太陽光発電の普及が進んでいる地域でもあり、今後のゼロエネ住宅への関心も高い地域と見込まれます。
そこでまずは工務店の挑戦を期待して「ZEH強化基準相当」を目標として設定しました。
また、BELSの普及に向けた取組みを積極的に行うものとします。
・ゼロエネルギー住宅の評価としては第三者認定である　BELS　を採用しています。

※高度省エネ型住宅では、耐震等級2以上は含まないものとする。
※履歴管理、メンテナンス、維持管理については推奨とし、積極的な利用を促します。

2）低炭素建築物

・認定低炭素建築物の認定基準に適合した住宅,または、BELS認証制度を利用するものとします。

・建築物省エネ法7条（BELS）により、省エネ建築物としての性能表示をし、利用者へのアピールに努めること。

※なお、住宅特有の共通ルールについては含まないものとします。
（住宅履歴管理システム、住宅瑕疵保険の加入等）

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。